

パネルディスカッション（敬称略）

川崎より問題提起

基調講演を受けて、結婚の二極化、高学歴化というお話の関連の中で、朝日新聞に載っていましたフランスの連帯市民協約 制度的な結婚をせず同棲をするカップルに結婚に近い権利を認める が結婚の半数を超えているとありましたが、社会や制度、文化は異なるものの日韓においも将来こうした傾向が起こりうるのでしょうか。岡田先生いかがでしょうか。

岡田

ハウスウエディングは日本では個別化（パーソナライズド）の中で受け入れられたが、一方韓国では、邸宅を借り切ることにより多くの参列者を呼べたり、社会関係を広めるといって受け入れられたと考えます。ですから日本ではフランスに近い状況は起こりうるかもしれませんが、むしろ韓国は逆の方向になるでしょう。家族や親族は社会のセーフティネットであり結婚はそれを広げる大きなチャンスですから。日本は韓国とフランスの中間にあるのではないのでしょうか。

川崎

ありがとうございます。フランスはあくまで政治的な配慮がありますし、日本ではないので難しいことだと思います。今のお話で、ハウスウエディングに対する日韓の考え方の違いがよくわかりました。「ナシ婚」が増えるのはホテルは式場にとっては大変な問題だと思うのですが、その件に関しまして、森重先生いかがでしょうか。

森重

先ほど日本では結婚の必要性を認める割合が低いという調査結果をお見せしましたように、欧米化傾向が見られるので、韓国とはシチュエーションが違うかもしれませんが、これから日本はそうした（フランス的）状況が増える可能性があるかもしれません。お披露目していただかなくてはウエディング業界もそれでは困りますから、ぜひお願いしたいものです。

川崎

どうもありがとうございました。最初から難しい質問が続きましたが、今回のテーマは韓国と日本であり、神戸市のウエディング産業の振興に貢献したいという立場から日本と韓国とのウエディング産業の交流は今後活発にありそうでしょうか。田中先生いかがでしょうか。

田中

韓国の人が日本に対して同じような気持ちをもっていれば、(交流は)進んでいくと思います。韓国籍の人が日本で韓国式の結婚式・披露宴をするというのは常時あり得ると思うので心配ないと思います。また、とにかく今両親が若く放任的なので、同棲のような状況が進む可能性はあるかもしれません。

川崎

武田先生いかがでしょうか。韓国の適齢期の方たちが観光をかねて日本でお披露目パーティをおこなう可能性はあるでしょうか。

武田

可能性はあると思います。距離的に近いですし、韓国からよりよい雪を求めてスキーに来たりしています。ですから、よりおしゃれにできるとか若者を惹きつけるような魅力があれば、日本でパーティをあげるような可能性はあると思います。

川崎

ありがとうございました。それではこれまでとは関係なく、ご自由なご質問を受け付けますので挙手していただけますでしょうか。・・・特になければ、登壇者の先生同士ご質問やご意見があればお願いいたします。では、土井先生いかがでしょうか。

土井

私どもは、学生が結婚をキーワードにして、神戸の活性化につなげられないかを模索している状況です。今日の中で色々なヒントが出たと思います。岡田先生、田中先生がロケ写真の重視ということなどをお話されたので、神戸のおしゃれ感をいかしたロケ写真現場として神戸を選んでいただき、韓国の披露宴で流す前取り写真やデジタルフォトフレームなどで神戸を活用していただきたいと思います。ゆらぎの中の二極分解の中の一極を喚起しながら、神戸の新しいものが出てくればいいと思います。これは突拍子もない発想でしょうか。

岡田

二極分解の中の一極だけではないと思います。片一方がメディアミックスとすると、もう一方がファミリーミックスです。つまり、恋愛至上主義は、例えば著名な恋愛映画の場所は必ずカップルでいっぱいになります。ストーリーをメディアと協力して創り上げる。これが一つ(の戦略)。それから、ファミリーミックス 伝統志向、家族志向の場合、実は結婚式は両親のためにするわけです。日本というのは、孝道旅行地として重要であり、結婚を機会に両親や一族の高齢者の方を例えば有馬温泉などにセットでお招きするというの

はあり得る形だと思えます。メディア、もしくは家族の関係を強化する機会としてのツーリズムとミックスする可能性はありえます。神戸で出来ることをイメージすれば対応が可能かと思えます。

森重

私も岡田先生にご質問しようかなと思っていたのですが、ついこの間まで日本人が海外挙式ということで、両親を連れて海外で結婚式をあげることが多くなって国内の結婚式が減ったというようなこともあったのですが、そのように韓国の方が両親を連れて神戸に来て結婚式をあげるというのは、可能なのかをお聞きしたかったのです。先ほどのお話だと十分可能性があるということですので、神戸ウエディング会議の活動の中で、特に海外から日本に結婚式をしに来ていただくという取組もやっており、ぜひ韓国の皆さんにも神戸に来ていただいて結婚式をしていただきたいと思います。ロケーションフォトの有数の場所が神戸にはたくさんありますので、そこが活性化できたらいいと思います。

川崎

神戸のウエディングと観光というのは密接な関係にあると思いますが、岡田先生と森重先生のお話からこういうことも言えるのではというご意見が会場からございますでしょうか。・・・村上和子先生いかがですか。

村上

わたしは特に港を活かした町づくりをしていますが、最近インフルエンザ騒動で海外から人がお見えくださらない事情がございます。海を使って韓国、中国、台湾という東アジアの文化の国からツーリズムで日本に来ていただき、二次会や新婚旅行をしてもらうなど色々な展開は可能だと思います。神戸は世界の三大美港の一つですから、港を使ってウェルカムするような取組をお願いしたいのと、山手の学生も関与できる地域あげでの連携プレーをこうしたシンポジウムで成果として展開させていただけたらと思っています。

川崎

ミナト神戸とプライダルとをキーワードにして学生の教育に関しまして、最後に土井先生の方からお願いします。

土井

学生は神戸ウエディング会議の方々からもご指導いただきながら、ウエディングを切り口に神戸の地域活性というのを今後も考えていくことになります。今日のお話から、東アジア全体という捉え方も含んで、神戸の山・海・街エリアの魅力を様々な局面から提示していくことが可能だと思います。学生の素朴な疑問から大きなきっかけが生まれることも

願いつつ、皆様のご助力をいただきながら学生指導にあたってまいりたいと思っております。

川崎

(略) 本日はどうもありがとうございました。

以 上